

レッスン 1: はじめに

緊急事態では、多くの場合、負傷、環境破壊、家を離れざるをえない人びと（国内避難民）の急激な増加が生じます。緊急時には、あらゆる人びとが安全な場所と必要不可欠な保健サービスにアクセスできることがたいへん重要です。

支援技術

支援技術の範囲は、支援製品のみにとどまりません。この語には、自分が必要とする支援製品に人びとがアクセスでき、安全に使用するために必要な、政策、システム、サービスが含まれます。

支援製品へのアクセス

支援製品は、緊急状況では医薬品など他の医療品と共に用意されている必要があります。それらは負傷し、および/または避難した人びとの安全と健康に必要不可欠なものです。

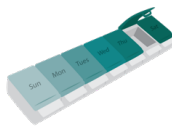
支援製品によって以下のことが可能になります：

- 安全な場所への移動、
- 食料品、水、住まい、サービスへのアクセス、および
- 自立を向上させ介助者支援の必要を減らす

支援製品の種類

支援製品にはさまざまな種類があり、人びとがさまざまな課題をやり通すことを支援できます。

支援製品の例やその種類には以下のものがあります：

移動	セルフケア	コミュニケーション	認知	視覚	聴覚
					
クラッチ	トイレ用椅子	コミュニケーションボード	ピルケース	ルーペ	補聴器

緊急時に支援製品を利用するのはだれでしょうか？

あらゆる年齢層の人びとが、緊急時に支援製品を必要とします。これには、高齢者、障害者、負傷者、糖尿病など長期にわたる健康条件（疾患）のある人が含まれます。

- **一時的**支援製品ユーザー：支援製品を短期間必要とする人。これには負傷、手術、病気などによる場合があります
- **長期的**支援製品ユーザー：継続的な健康問題があり、長期間にわたり支援製品を必要とする人。支援製品を常時使用する場合もあれば、一日に数時間だけ使う場合もあります

レッスン 2: 緊急時に供与する支援製品を準備する

緊急事態に備えた適切な計画と準備は、生命を救います。

- 可能なかぎり、支援製品は既存の保健サービスの枠内で供与されるべきです
- 緊急事態より前は、支援製品の利用が一般的でなかった可能性もあります。その場合、担当者には製品供与の知識と技能を身につける教習が必要かもしれません。
- 支援製品教習 (TAP) の各モジュールは、緊急時の対応人材が支援製品を安全に供与するための教習に活用できます。TAP は、サービス供与者、支援製品の利用者、広く地域社会で活用できます

緊急事態のための支援製品を選択し備蓄する

緊急事態の前に:

- 適切な製品と供給者は、製品の迅速な供給を支援するため緊急事態前に特定しておくべきです
- 優先的支援製品の在庫は、他の必須保健物品と共に、すぐ使えるように備蓄できます。これは、緊急事態発生の際の危険が高い地域において重要です

支援製品を備蓄できる期間には限りがあります。材料の品質と性能は、時間を経るにつれ劣化します。これは特に高温と低温の場合に著しくなります。供給者には、製品を備蓄して安全に使用できる期間 (貯蔵寿命) を尋ねなさい。

緊急事態に適した支援製品

WHO は、緊急対応のための優先的支援製品リストのモデルを作成しました。これは緊急時に支援製品を必要とする人びとを支援するためのものです。

AT6	AT10
救急外傷外科治療用の 6 種の優先的製品: ● 次の必須項目を支援できる優先的支援製品: ○ 負傷や手術後の移動 ○ 失禁管理を含むセルフケア ● 手術後人工呼吸器を装着している人に対しコミュニケーション支援製品はそのニーズや感情の伝達を支援できる ● AT6 ハンドブックは、外傷施設スタッフがこれら 6 種の支援製品を患者へ供与するやり方の手引きとなる	国内避難民および/または難民のニーズを支援するための 10 種の優先的支援製品: ● 地域住民のニーズや状況に合わせて調整できる移動およびセルフケア支援製品が含まれる ● より長期的ニーズのある人びとには、より広範な種類の支援製品が検討されるべきである

WHO「[支援製品仕様書 \(APS\)](#)」は適切な支援製品の選択に役立つ文書です。そこには支援製品が安全で効果的であるために必要な最低限の要件が詳述され、優先度の高いスペアパーツに関する情報も含まれています。

候補となる供給者には、必ず納期を確認しなさい。

製品の輸送と備蓄

- 支援製品には、車椅子や歩行支援用品など大型のものがあります。分解して輸送し備蓄するのがかんたんな製品もあります。それらはサービス地でただちに組み立てられます
- あらゆる医療用品の集約場所を特定しておく、支援製品のサービス間での移動が簡素化されます。この地点での仕分けと梱包に必要なスペースを考慮しておきなさい

レッスン 3: 緊急時に支援製品を供与する

緊急事態でのサービスモデル

サービスに求められるのは、適切な支援製品の供与です。サービスモデルを計画する際には:

- 地域の人びとと協力して、支援製品を必要とする人を特定し、紹介・相談し、フォローアップしなさい。支援製品へのニーズがある人びとは、見過ごされているかもしれません
- TAP のサービス供与の 4 ステップを活用しなさい:
 1. 本人のニーズに最適な製品を選択する
 2. 製品を調整して本人に適合させる
 3. 本人に自分の製品の使い方と手入れのやり方を教える
 4. 本人のニーズの再評価と製品の基礎的な修理やメンテナンスを含むフォローアップ

レッスン 4: フォローアップ

緊急事態では、人びとは移動が多くなる可能性があります。必ず複数の連絡手段を確かめ、サービスへの連絡方法を情報共有しなさい。